

## 平成29年度 部局長マネジメント方針

副市長 かわぐち 川口 せいじ 誠司



### 私の決意

私は、平成23年11月に副市長に就任して以来、それまでの市職員としての経験を活かして、何よりもまず市民の生命と財産を守ること、また、市民の皆様に行政のことをわかりやすくお伝えし、理解と協力を得ること、この2つのことを常に念頭に置きながら職務にあたっております。

また、副市長として、市長のトップマネジメントを補佐し、市政全般にわたり政策を推進していくことが肝要と考え、日々、職務に邁進しているところです。

平成29年度は、次の点について、特に重点課題として取り組んでまいります。

まず、危機管理への備えであります。

自然災害や大規模な事故等、いつ・何が起こるかわからない状況への備えとして、常日頃から本市職員には、「想定外を想定する」という高い危機管理意識を求めています。

本市以外で起こった事象においても、本市に置き換え、対応を考えることで、いざという時にどのような行動を取るのかを考えることで市民の安全・安心を守ってまいります。

また、2019年に花園ラグビー場で開催されますラグビーワールドカップに向けては、昨今の世界情勢から国際テロ等も視野に入れ、国内外の来訪者及び市民の安全のため、国民保護計画に基づく避難実施要領の作成を指示するとともに、昨年度に引き続き、大阪府・消防・警察・医療機関等の関係機関と連携して国民保護共同図上訓練を実施いたします。

次に、行財政改革のさらなる取組みです。

今後、本格的な到来が見込まれる人口減少社会や本市の厳しい財政状況に対応するためには、平成27年度に策定した「東大阪市行財政改革プラン2015」の着実な推進をはじめ、新たな視点に立ち、より効果的、効率的な取組みが必要であると考えます。

このことから、職員がもてる英知を集結し、一丸となってより一層取組みを進めてまいります。